

## 開架資料紹介 横浜市事務報告書

事務報告書は、地方自治法制定以前は市制・町村制に基づき、以後は同法に基づいて、一年間の行政の概要を市会に報告する目的で作成された。このため、印刷物の冊子ではあるが、厳密な意味での刊行物とは言えない。

毎年の市政の概要については、市民向けには、昭和二〇年代半ば以降、ほぼ毎年発刊された、『市政概要』（二〇〇五年）『市政記録』がある。同書と共に、市会へ報告するための「事務報告書」は、毎年の市政を見ていく上で基本的な資料である。

報告書は、掲載月の範囲が、一〜二月の年単位や、四〜翌年三月の年度単位では無く、市会への報告のために、昭和初期には一〜翌年一月、その後、一月〜翌年一〇月、一〇月〜翌年九月などと変わり、最近では、前年と当年九月までの範囲となっている。

市史資料室では、大正一五年分から複製か原本によって、閲覧室に開架して閲覧に供している。内訳は、大正一五〜昭和一三年、一七年、一九・二〇年、二二年〜三五年が複製、三六年〜平成一五（一四年四月〜一五年九月）が原本を配架している。また別に、電気局・水道局・瓦斯局の事務報告書を、昭和一九年まで前記の年次について、複製を製本配架している。

次に、いくつか内容を紹介します。毎年、昭和初期では課ごとに、現在では局ごとに、行われた施策を記載する。昭和初期では、儀式や交際が細かく掲載され、例えば、一九三〇（昭和五）

年「秘書課」の項には、四月二二日「米国バレーバー・ストラス・コーナー小学校長外一行本市教育状況視察ノ為来市セリ」など、視察や式典など八五項目が掲載されている。一九四七（昭和二二）年「総務局」の項でも、石河京市市長が就任後、アメリカ第八軍関係官、神奈川地区軍政部メルバーク大佐、第八軍司令官アイケルバーガー中将などを訪問したことが書かれている。また、同年の「経済局」の「物資調整」では、食糧が逼迫する中で配給が遅配となった様子なども書かれており、事務的な文章ながら、占領下における物資不足の時代の様子がうかがえる。

時代が降るに従って、内容が簡略化・形式化しており、記述が少なくなり一覧表が多くなる。実施の月日が記載されないものも多い。また、『衛生年報』・『公害との戦い』のように、ページ数が多い局や事業の概要類が刊行されている場合もある。

しかし、多くの局区では、継続して概要類が刊行されている例は少なく、複数の局区が関わる施策や全市的な施策もあるので、最初に書いたように『市政概要』と共に、先ず見るべき文献であろう。

（百瀬敏夫）

### 《市史資料室たより》

【平成25年度横浜市史資料室 展示会】  
「レンズがとらえた震災復興

— 1923~1929」

日時：7月13日(土)~10月14日(月・祝)  
9時30分~17時  
場所：横浜市中央図書館地下1階ホール、  
横浜市史資料室内展示コーナー  
休館日：7月16日(火)、8月19日(月)、  
9月17日(火)

◎入場無料

《同時開催》

横浜開港資料館 「被災者が語る関東大震災」

・一般200円、小・中学生100円

横浜都市発展記念館

「関東大震災と横浜—廃墟から復興まで—」

・一般300円、小・中学生150円

・両館共通割引入館券

一般400円、小・中学生200円もあります。

【展示記念講演会】〈事前申込制〉

「関東大震災の災害教訓

—東京・横浜の比較から—

日時：9月1日(日)13時~16時30分

会場：横浜市中央図書館 地下1階ホール

演題と講師

・「ジャーナリストが見た関東大震災」

吉田律人(横浜開港資料館調査研究員)

・「横浜の関東大震災を歩く—東京との比較から見えること—」

武村雅之(名古屋大学減災連携研究センター教授・歴史地震研究会会長)

・「震災に立ち向かった人びと」

鈴木淳(東京大学大学院

人文社会系研究科教授)

募集人数：180人(応募多数の場合抽選)

参加費：無料

申込方法：往復はがきに住所・氏名・電話番号を明記して下記宛先へお送り下さい。はがき1枚につき1名様のみです。

〒220-0032 横浜市西区老松町1

横浜市中央図書館地下1F

横浜市史資料室 9/1 講演会係

締切：8月15日(木)必着

問合せ先：045-251-3260(横浜市史資料室)



『報告書 ヨコハマの台所』

【横浜市史資料室刊行物のご案内】

・写真集『昭和の横浜』(2,000円)、

・『横浜市史資料室 紀要』1、2、3号  
(各1冊：500円)

報告書

・『横浜・関東大震災の記憶』

・『横浜の文化人と戦後復興』

・『ヨコハマの台所』(各1冊：500円)

\*横浜市史資料室の刊行物は、市民情報センター(横浜市役所1階)、横浜開港資料館、横浜都市発展記念館、横浜市歴史博物館、横浜市中央図書館ふれあいショップのげやまで販売しています。

【寄贈資料】

1 磯崎 道雄様 日記、スクラップブック 26点

2 松本 昭子様 『命の糸紡ぎつづけて』 1点

3 浅川 省吾様 岡本三朗撮影の横浜市の震災被災写真 20点

4 山本美月子様 大谷嘉兵衛 銅像 1点

5 小泉 久光様 体験記、写真、書簡など 64点

\*資料提供のお願い\*

昔の横浜を記録した写真や資料などございましたら、横浜市史資料室045-251-3260へご連絡ください。次世代の市民に引き継ぎます。

◇ 休室日のご案内 ◇

7月16日(火)、8月19日(月)、9月17日(火)、  
10月15日(火)、11月5日(火)